

大阪湾漁場環境速報

平成21年 7月 8日発行
兵庫のり研究所

今回調査は湾北部のみで、その他は欠測しました。
(水温) 表層は湾内22~26 台で、平均**24.1**。 平年(過去10年平均23.6)比0.5、昨年(23.3)比0.8 それぞれ高い。 -10m層は平均**21.9** で、平年(21.9)並。 表層塩分の低い海域を中心に強い成層が観測された。

(塩分) 表層平均**29.98psu**(平年 29.29)。 -10m層平均**32.52psu**(平年 32.03)。

(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均**1.3 μg-at/L**、リン濃度は平均**0.20 μg-at/L**。 窒素は先月同様、平年(4.3)よりかなり低く、リンはほぼ平年(0.21)並。 -10m層(平均)は、窒素**3.2 μg-at/L**、リン**0.38 μg-at/L**。 明石海峡付近(St.05, 06)を除く海域で、珪藻、渦鞭毛藻など植物プランクトンの発生量が多い状況。 表層塩分の低い湾奥部ではスケルトネマを優占種とした小型珪藻による赤潮が確認された。 また、神戸空港周辺では、それに加えて、コシノディスカスの一種(*C. granii*)の発生量が多かった。 透明度は赤潮海域で1.5m、その他で3.5~8.0mで、平均5.3m。 pHは表層平均**8.53**で、明石海峡部を除いて8.6~8.7の高い値を示している。

上段(今回値)	平成21年7月7日調査
中段(昨年値)	平成20年7月8日調査
下段(平年値)	

調査地点	水温()	塩分(psu)	三態窒素(μg-at/L)	磷酸(μg-at/L)
04	22.5	32.43	1.2	0.41
	23.2	32.01	2.0	0.23
05	22.4	32.64	3.0	0.35
	22.0	32.19	2.5	0.37
06	22.0	32.56	3.7	0.40
	22.1	32.12	2.8	0.37
07	22.6	31.37	2.0	0.27
	23.5	31.40	2.8	0.29
08	23.0	31.68	0.5	0.17
	23.8	31.02	1.2	0.21
09	22.4	31.98	1.1	0.28
	23.1	31.91	1.7	0.21
010	24.5	30.47	0.2	0.10
	25.0	30.10	0.9	0.20
012	23.8	30.63	0.7	0.10
	25.2	28.04	1.0	0.19
013D	26.0	26.63	2.4	0.29
	25.5	26.33	0.4	0.12
016	24.9	27.25	0.5	0.17
	24.5	25.34	5.2	0.32
017D	25.7	25.06	25.0	0.37
	26.9	11.97	37.5	0.96
018	26.7	19.07	1.2	0.35
	25.6	19.25	29.2	0.75
S1	25.1	29.21	0.4	0.13
	22.5	31.79	1.3	0.27
S2	24.9	29.43	0.2	0.10
	24.2	29.72	3.1	0.12
S3	24.6	29.68	0.2	0.11
	24.0	30.14	1.3	0.15
S4	23.1	32.78	1.5	0.22
	23.4	32.08	1.7	0.21



